

事務事業評価シート

平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	410	議会情報発信事業	予算科目	会計	款	項	目	担当課	議会事務局	担当班	議事班
			(1)	(インターネット議会配信委託)		一般	1	1	1				
施策体系	基本施策	25	広報・広聴・情報公開の充実	根拠法令									
	施策の展開	49	開かれた議会の実現	戦略事業	227	インターネット議会配信事業							
	施策の展開			戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●開かれた議会の実現を目指して、インターネットを利用した議会のライブ中継や過去の録画中継を配信する。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成18年第2回(6月)より公共施設にてライブ中継開始。平成21年第2回よりインターネット配信開始。平成24年第2回より録画中継インターネット配信開始。	インターネットが普及し、多くの住民が映像を見れる環境が整ってきたが、中継を行っていることの周知が足りない可能性がある。		議会中継システムに関して、住民からの意見は特にない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1.電算業務委託料	1,731	インターネット映像配信業務委託	千円	1,361	1,361	1,361	1,731	1,962
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)	千円	1,361	1,361	1,361	1,731
1.国庫支出金	0		1. 国庫支出金	千円				
2.都道府県支出金	0		2. 都道府県支出金	千円				
3.地方債	0		3. 地方債	千円				
4.その他	0		4. その他	千円				
			5. 一般財源	千円	1,361	1,361	1,361	1,731

前年度 増減理由	議会映像配信のマルチデバイス化による。
-------------	---------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 2 人 × 19 日 = 延べ 38 人

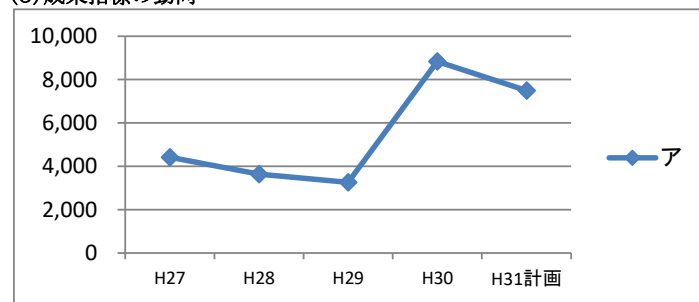
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績 (30年度に行った主な活動) スマートフォンの普及に対応するため、スマートフォン・タブレット端末向け配信を導入した。	ア インターネットライブ中継日数	日	21	22	23	19	21
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	対象 市民 意図 本会議の様子を市民に知ってもらう。	ア 本会議ライブ・録画中継のアクセス数	件	4,412	3,643	3,261	8,836	7,500

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい				
普通				⑦
小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 成果動向
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	
		議会だより・HPで①本会議は生中継と録画中継を行っていること②スマートフォン・タブレット端末でも視聴可能なことをPRする。			☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	議会だより・HPで①本会議は生中継と録画中継を行っていること②スマートフォン・タブレット端末でも視聴可能なことをPRする。